

第99回全国高校野球選手権

青森大会

〈第7日〉

第99回全国高校野球選手権青森大会第7日は20日、青森市営、八戸市長根、六戸町メイプル、弘前市はるか夢の4球場で2回戦3試合と3回戦6試合を実施した。2回戦は八戸が三豊を下し、十和田工が八戸商に快勝。青森東は弘前にコールド勝ちした。3回戦は八学光星が弘前実を退け、8強入り。青森山田、青中央、東義、弘前東、弘学聖愛も華々決勝に勝ち進んだ。三本木、三沢、三沢商は姿を消した。第8日の21日は長根で3回戦2試合を行い、8強が出そろう。(取材班)

【八戸市長根】
▽3回戦
八戸工大一 10・00
青森東 十和田工 12・30



【弘前実―八学光星】8回途中、9奪三振無失点の好投を見せた光星の成田太一(メイプル)

成田 投打に活躍

〇…光星は横投げの桑田万寛を打ちあぐね、七回まで2点止まり。吉田大樹主将は「横投げ投手は想定していたが、内角の直球や外角のスライダーが思っていた以上だった」と振り返る。

接戦の中、先発成田太一は低めの制球を意識し、相手に得点を許さなかった。「自分の持ち味である粘り強さを発揮できた。野手の好守にも助けられた」と2年生左腕。八回には2点適時打も放ち、「チームの組織力に貢献できた」と充実感をにじませた。

【評】光星は三回無死一、三塁から吉田の右横飛で先制。八回は2死から馬場、福山、瀬川、成田の4連打で3点を追加した。先発成田は八回途中、9奪三振無失点の好投で試合をつくった。弘前実が長打を含む9安打を放ったが、好機に一本が出なかった。

弘前実・桑田万寛(1人で投げ抜き)「八回途中で右ふくらはぎがつかったが、実業の『1番』を背負う以上、最後までマウンドを譲りたくなかった。小3から野球を始め、今日の試合が内容も気持ちも最高」

3回戦

盤石リレー
光星零封〇

弘前実 00000000000000000000
八学光星 0010000000001XX50

【弘前実】打安点振球
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
①R②R③R④H⑤④H⑥H⑦H⑧H⑨H⑩H⑪H⑫H⑬H⑭H⑮H⑯H⑰H⑱H⑲H⑳H㉑H㉒H㉓H㉔H㉕H
000183390112

【八学光星】打安点振球
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
①R②R③R④H⑤④H⑥H⑦H⑧H⑨H⑩H⑪H⑫H⑬H⑭H⑮H⑯H⑰H⑱H⑲H⑳H㉑H㉒H㉓H㉔H㉕H
000183213531

【弘前実】投手 成田太一
【八学光星】投手 成田太一

【弘前実】打安点振球
⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕
①R②R③R④H⑤④H⑥H⑦H⑧H⑨H⑩H⑪H⑫H⑬H⑭H⑮H⑯H⑰H⑱H⑲H⑳H㉑H㉒H㉓H㉔H㉕H
000183213531